

ヨーロッパ連合と旗

European Union and its flags

2001.5.24 札幌たの授サークル用レポート

仮説実験授業研究会・北海道 丸山 秀一



[質問]

これはヨーロッパ連合（EU）の旗です。12 の星が描かれていますが、この 12 の星は何を表していると思いますか。

予想

ア 現在の EU 加盟国の数

イ 最初の EU 加盟国の数

ウ そのほか

EU 加盟国

現在の EU 加盟国は 15 カ国です。当初の加盟国は 6 カ国でした。ですから 12 の星は加盟国を表しているわけではありません。

12 は、

- ・黄道 12 宮
- ・時刻の 12 時（ は時計の文字盤の位置）
- ・1 年の 12 カ月
- ・キリストの 12 使徒
- ・12 項目のローマ法
- ・黙示録の騎手の 12 支星の王冠

を意味する象徴的なデザインということです。そしてその配列は、完璧と充実を象徴する古代ギリシャの円を表わしています。

しかし、『黙示録』には、「12 星の王冠」の記述があり、カソリックにおいては、それは聖母マリアの頭の後ろに、12 星の輪として描かれます。そのため、この EU の旗は、カソリック的色彩が強いのではないかと考える人たちもいます。

[質問]

EU 旗は、もともと欧州各国の政府間協力組織である「ヨーロッパ審議会」のもので、最初その旗には15の星がありました。この15は、何を表していたのでしょうか。

予想

- ア 加盟国数
- イ なにかの象徴的意味



ヨーロッパ審議会
1953-55の旗

星の数

ヨーロッパ審議会の旗は、1953年に参加15カ国に基づいて15の星がついていて、「参加国が変わっても星の数は変更しない」予定でした。ところがドイツが15の星に反対しました。その星のひとつがフランスと帰属問題を争っているザール地方を表していたからです。しかしフランスも星を14にすることは、「ザール地方がドイツに帰属する」と国際的に認められることになってしまうので反対でした。しかし13も迷信があり問題外。そこで12個が政治的な問題もなく良い数とされ1955年に12個の星となったのです。

[質問]

EUは、1951年に調印されたヨーロッパ石炭鉄鋼共同体（European Coal and Steel Community）創設条約がその始まりです。調印国はイタリア、オランダ、西ドイツ、フランス、ベルギー、ルクセンブルグですが。どこの国が発案したものだと思いますか。

シューマン・プラン

1950年5月9日、時のフランス外相ロベール・シューマンは、フランスおよび旧西ドイツにおける石炭と鉄鋼の生産を最高機関とよばれる共通機関にゆだねることとほかのヨーロッパ諸国の参加を歓迎する旨の提案を行いました。これがいわゆるシューマン・プランとよばれるもので、彼は、この共同生産をヨーロッパ連邦の最初の段階としてとらえていたのです。



European Coal and Steel Community (ECSC)

この旗が持つ意味を解説してみてください。

- ・ 青はなんの象徴
- ・ 黒はなんの象徴
- ・ 6つの星は何を表していますか

[質問]

ではなぜ石炭と鉄鋼の生産を国際的に管理することがヨーロッパ連邦の最初の段階になるのでしょうか。シューマンが提案したこのプランの意図はなんだったのでしょうか。

予想

- ア 経済協力のため
- イ 戦争をしないため
- ウ 労働問題解決のため
- エ 差別撤廃のため

EU の精神

EU の精神の根幹をなすものは「戦争回避」です。フランス外相ロベール・シューマンが発表したフランスとドイツの鉄鋼と石炭の超国家的 (supranational) な共同体による管理は、戦争遂行に必要なエネルギーと鉄をドイツとフランスから取り上げ、両国が二度と戦えないようにするのが目的でした。

これは、国家の主権の一部を超国家機構である共同体に委ねるといっはじめての試みでした。ドイツとフランスの鉄鋼と石炭は、その生産から販売までを超国家機構である ECSC ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体、1951 年創設) が行うことになったのです。

この方式はその後、経済の一体化を目指す EEC (ヨーロッパ経済共同体)、原子力の平和利用のための EURATOM (ヨーロッパ原子力共同体) へと広げられてきました。そしてこれらの超国家共同体は 1967 年に EC へと一本化されたのです。そして 1993 年には市場統合を実現し、マーストリヒト条約 (ヨーロッパ連合条約 = Treaty on European Union) の発効にともなって、EC はその名称を EU としました。

[質問]

ヨーロッパ連合条約により，ヨーロッパは統合へ向けて大きく動き出しました。さて，その条約では，加盟国間でのいくつかの「国境」を撤廃しました。どんな「国境」が撤廃されたのでしょうか。

- () どの国でも自由に行き来できる
- () 動物や植物も自由に行き来できる
- () 輸出入が完全に自由
- () どの国の貨幣でも使える
- () どの国でもキャッシュカードが使える
- () 医師・教員免許などがどの国でも通用
- () 年金などの社会保障制度もどの国でも通用
- () 列車はどの国の鉄道でも走れる
- () 航空機はどの国の空港へも行ける
- () 警察はどの国の事件でも捜査できる
- () 労働条件はどの国でも同じ
- () どの国でも自由に就労できる

四つの自由

市場統合により EU は 4 つの国境を越えた自由を獲得しました。戦争や革命なしで国境を消し去ることができたのです。

・人の移動の自由

出入国審査はありません。加盟国の国民は、EU 市民であることを示す EU 共通のパスポートを提示するだけで、どの国でも自由に出入りができます。自動車や鉄道についても国境での検問はありません。

人と同様に犬などの動植物も自由に移動ができ、検疫などはありません。

・商品の移動の自由

輸出入の許可申請、関税などの手続きは一切不要になりました。加盟国で合法的に製造・販売されているものは、どの国でも自由に購入販売することができます。

・資本の移動の自由

加盟国間の資本の移動も自由で、企業は国を越えた自由な活動ができます。そして 2002.1 からは、通貨も

統合されます。これにより為替レートや両替の問題もなくなります。

・サービスの自由

医師，弁護士，税理士，教員などの国家資格は EU 共通でどの国でも有効です。だからどの国でも働くことができ，社会保障も国を問わず有効で，老後は働いたことのある国なららどこの国でも生活することができます。

鉄道や航空機も，自由にどこの国の路線でも運行することができます。

[質問]

EU はひとつの大きな超国家になろうとしています。では現在の EU に「国歌」があったり，駐日大使がいたりすると思いますか。

予想

ア そのとおり

イ そんなことはない

国としての EU

ベートーベンの第九交響曲最終楽章で用いられている「歓喜の歌」の主題が、EUの「国歌」です。「歓喜の歌」は自由と共同体意識と欧州連合を構成する15カ国の市民の平和に対する賛歌で、さらに、自由意思によってEUに加盟しようとする他の国民をたたえる歌でもあります。

また EU には各国に「欧州委員会代表部」(the Delegation of the European Commission) を設けていて、その代表は大使の扱いを受けています。欧州委員会とは、EU の行政執行機関です。

[質問]

EU の公用語はなんだと思いますか。

予想

- ア 英語
- イ フランス語
- ウ 英・仏・独語
- エ そのほか

EU と加盟国

EU では現在 11 の公用語が使われています。それらはデンマーク語 ,ドイツ語 ,ギリシャ語 ,スペイン語 ,フランス語 ,イタリア語 ,オランダ語 ,ポルトガル語 ,フィンランド語 ,スウェーデン語 ,英語です。EU では加盟国の表記も加盟国の自国語でのものとなっています。

[質問]

EU は経済だけでなく , 政治や安全保障の統合も目指しています。では , EU には軍隊はあると思いますか。

予想

- ア 常設軍がある
- イ 有事の際だけ軍隊をつくる
- ウ 安全保障は NATO (北大西洋条約機構) が担当している

EU の軍事部門

EU の安全保障は EU と加盟国が重なる西ヨーロッパ連合 (WEU) を通じて行いますが、「北大西洋条約機構 (NATO) の政策とは矛盾しないこと」となっています。EU の軍事部門に位置づけられた WEU はヨーロッパ軍 (Eurocorps、司令部ストラスブール、兵員 3 万 5000 人) とヨーロッパ地中海軍 (司令部イタリアのフローレンス、兵員 1 万 ~ 1 万 5000 人) を設けています。



西ヨーロッパ連合
Western European
Union
星の数は加盟国を表
していて、現在は 10
星。



北大西洋条約機構
North Atlantic Treaty
Organization

[質問]

EU と日本との関係を見ていきましょう。日本の貿易額に占めるEUの割合はどれぐらいだと思いますか。順位を予想してみてください。

逆にEUの貿易額に占める日本の割合も予想してみましょう。

予想

- ア 第1位
- イ 第2位
- ウ 第3位
- エ 4位以下

日本の貿易相手国としてEUは()位。

EUの貿易相手国として日本は()位。

日本の主要貿易相手国（1999年）

順位	相手国	割合 (%)	順位	相手国	割合 (%)
1	米国	26.9	6	香港	3.3
2	EU	16.1	7	マレーシア	3.0
3	中国	9.1	8	シンガポール	3.0
4	台湾	5.7	9	オーストラリア	2.9
5	韓国	5.3	10	タイ	2.8

EUの主要貿易相手国（1999年）

順位	相手国	割合 (%)	順位	相手国	割合 (%)
1	米国	22.4	6	ポーランド	3.0
2	スイス	7.6	7	ロシア	2.7
3	日本	6.9	8	ハンガリー	2.4
4	中国	4.5	9	トルコ	2.3
6	ノルウェー	3.4	10	チェコ共和国	2.3

[質問]

現在 15 カ国で構成される EU は、これからも加盟国が増えていくでしょうか。

予想

ア 増えていくだろう

イ あまり変わらないだろう

ウ 減ってゆくだろう

拡大 EU

39 のヨーロッパ諸国のうち、EU 加盟国が 15 ですが、加盟を申請している国が 13 カ国あります。また国民投票で加盟を僅差で否決されたスイスとノルウェーも将来の加盟が予想されます。さらにロシア連邦も将来の加盟への希望を表明しています。

このような動きに対して、EU 内でも賛否両論がありますが、2000 年末の新欧州連合条約（ニース条約）により、東欧諸国の加盟も認めていく方針が合意されています。

[質問]

EU よりも加盟国数の多い、ヨーロッパの政府間協力組織である「ヨーロッパ審議会」の目的に述べられているのは次のどれでしょう

予想

- ア 平和
- イ 経済協力
- ウ 人権擁護
- エ 正義

ヨーロッパ審議会の目的

- ・ 人権，多元的民主主義，法の規定を守る
- ・ ヨーロッパ文化の独自性と多様性の発展させ，その意識を促進する
- ・ 今日のヨーロッパ社会が直面している問題（少数民族差別，外国人排斥，偏狭さ，環境保護，クローン人間，エイズ，麻薬，組織犯罪など）の解決を探る
- ・ 行政，立法，司法の改革を支持することにより，ヨーロッパでの強固な民主主義的安定を図る



COUNCIL
OF EUROPE

CONSEIL
DE L'EUROPE

これら加盟国共通の理想を実現することにより，加盟国間により大きな統一を図るのがヨーロッパ審議会の目的です。

[質問]

ヨーロッパ審議会の加盟国は，EU とくらべて多いのですが，次のEU 非加盟国も加盟しているでしょうか。

- () スイス
- () ノルウェー
- () CIS 諸国
- () ロシア
- () 米国
- () イスラエル
- () 日本
- () カナダ
- () オーストラリア
- () ニュージーランド

また国ではなくある団体がオブザーバーとして加盟していますが，どんな団体だと思いますか。

ヨーロッパ審議会加盟国

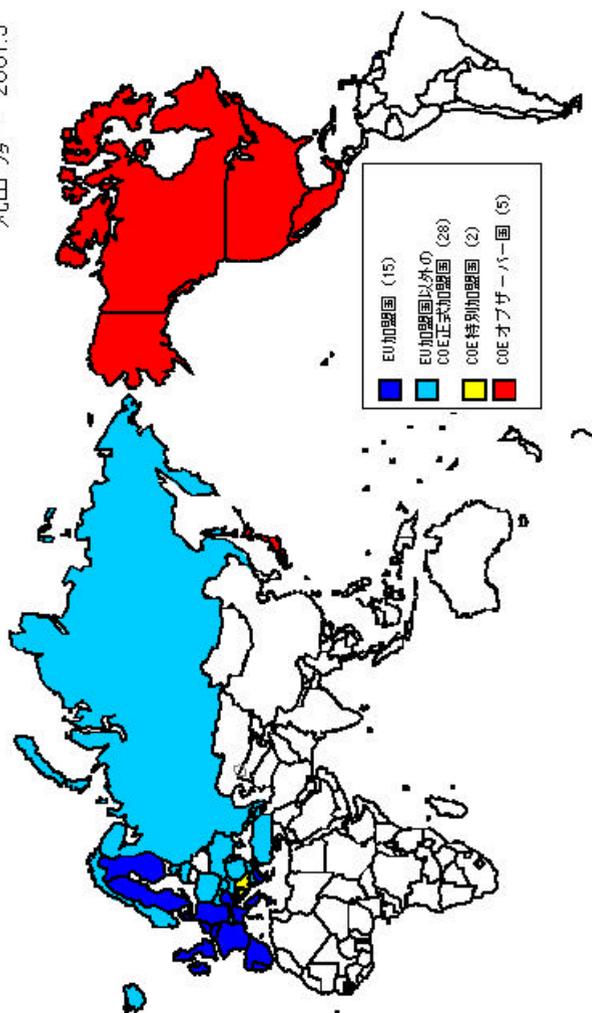
ヨーロッパ審議会には、43の正式加盟国と、2の特別参加国（ボスニア、ユーゴ）、そして5のオブザーバー国と団体が参加していて、全部で51の国と団体が加盟しています。ヨーロッパ諸国では、バチカンとモナコを除いたすべての国が加盟しており、ロシアと5つのCIS諸国も加盟しています。さらにオブザーバー国として、米国・カナダ・メキシコ・日本・イスラエルとカソリック教王庁が加盟しています。

これを図にすると、ヨーロッパ審議会加盟国は、地球の北半球をぐるっととりまいていることがわかります。EUが拡大していく過程で、南北問題が気になるところです。

EU・ヨーロッパ審議会 (COE) 加盟国

(EU加盟国はすべてCOE加盟国)

丸山 秀一 2001.5



[質問]

ヨーロッパ審議会が主催する行事の一つに「ヨーロッパ遺産の日」というのがあります。この日には文化的興味の対象となる施設が一般に開放されます。さてそのシンボルの旗は、EU の旗の中央に歴史的建造物のシルエットを描いたものなのですが、そこには宗教的意匠が含まれているのでしょうか。

予想

- ア キリスト教的なものだけが含まれている
- イ イスラム教的なものも含まれている
- ウ そのほか



European Heritage Days



意匠は、家・城塞・教会・モスクです。

[質問]

EU の旗のものになった旗があります。この旗の意味するところはなんだと思いますか。



Pan-Europe Movements

この「紺地に金のひとつ星」というデザインの旗を考案したのは、ドイツ人のカール・レイモンさん（1894-1987）です。北海道の函館には、有名なハム・ソーセージの店「函館カール・レイモン」がありますが、実はこの店は彼が作ったものです。

観光に立ち寄った日本で彼は、その食肉加工技師としての腕を見込まれて、函館などで技術指導に従事することになりました。1922年、函館で彼は日本人女性と恋愛して駆け落ちし、故郷のドイツのカールスパート（北海道・登別のカルルス温泉の名称の由来はこの地から）でハム・ソーセージの店を開業します。

そこで彼は、欧州統合を唱える「汎ヨーロッパ運動」へと傾倒していきます。そのときに「汎ヨーロッパ運動」の象徴として考案したのが、北極星をイメージしたこの旗だったのです。しかし彼は時代の先を進みすぎていました。店の売り上げを汎ヨーロッパ運動に投入したものの、さっぱり賛同者は現れず、彼は失意の中、1925年に函館へ戻りました。

彼はそこで小さな店を開きました。彼の作るソーセージやハムには、防腐剤や余計な粉や水も使われていません。ただただまじめに作り続けたのです。最初は、当時の肉製品への関心の薄さから、ほとんど売れませんでした。そのうちすぐに売り切れるほどの人気となりました。でも彼は引退するまで、どんなに注文を受けても、製造量は絶対に変えなかったそうです。

『北海道新聞』 2001.3.4 日曜版 「異色人物伝 86」より

おわりに

前記の新聞記事がきっかけで EU の旗について調べてみたら、EU について何も知らなかったことがわかってたのしくなっていました。フランス主導でスタートした欧州統合は、現在その先頭をドイツがリードして、私は慎重です。また、英国は何度も加盟を仏によって拒否されてきました。そのせいか英連邦の国で COE 加盟はカナダのみです。そして COE 加盟国を地図で塗り分けると、なんと北の国が全部塗られることになるのです。これには驚きました。

反応を歓迎します。

丸山 秀一 kasetu.maruyama@nifty.com

文献

・ Flags Of The World 旗章メーリングリスト

<http://fotw.vexillum.com/flags/>

EU 旗の星の数について詳しい。「欧州遺産の日」の情報もここからのもの。

- ・ Council Of Europe ヨーロッパ審議会

<http://www.coe.int/>

COEに関する全情報はこのサイトのものから。

- ・ 欧州委員会日本代表部 (日本語)

<http://jpn.ccc.eu.int/index.html>

日本語でうまくまとまっている。貿易データとFAQがよかった。

- ・ European Union 欧州連合

http://europa.eu.int/index_en.htm

- ・ 百科事典 『スーパー・ニッポニカ』小学館

書物として、ここからの多くの情報に依存した。特にEUでの自由について引用した。